

牟岐地区におけるトコブシ漁獲物調査

團 昭紀・吉見圭一郎・山本浩二*

特定海域栽培漁業強化事業の一環として牟岐地区でトコブシ漁獲物調査を実施した。

方法

平成12年3月31日から6月30日までのトコブシ漁期に、ほぼ週一回の頻度で、牟岐東及び牟岐町漁協にて漁獲されたトコブシについて、殻長をパンチカードに記録するとともに、グリーンマークを識別することにより人工種苗の混獲率を調査した。

結果及び考察

測定個数は、9,455個で図1に示したように殻長組成は30～90mmの範囲で、50mm付近にモードが見られる。通常は40～60mmが漁獲の大半を占めるが、90mm以上となる個体もわずかながら出現している。また、混獲率調査では放流貝と思われるグリーンマークを確認できたのは、596個であり、その混獲率は6.3%であった。放流貝は、殻長組成から見て、ほとんど平成11年度及び平成10年度放流貝と推定され、当地区では放流されて1、2年で漁獲されていることになる。

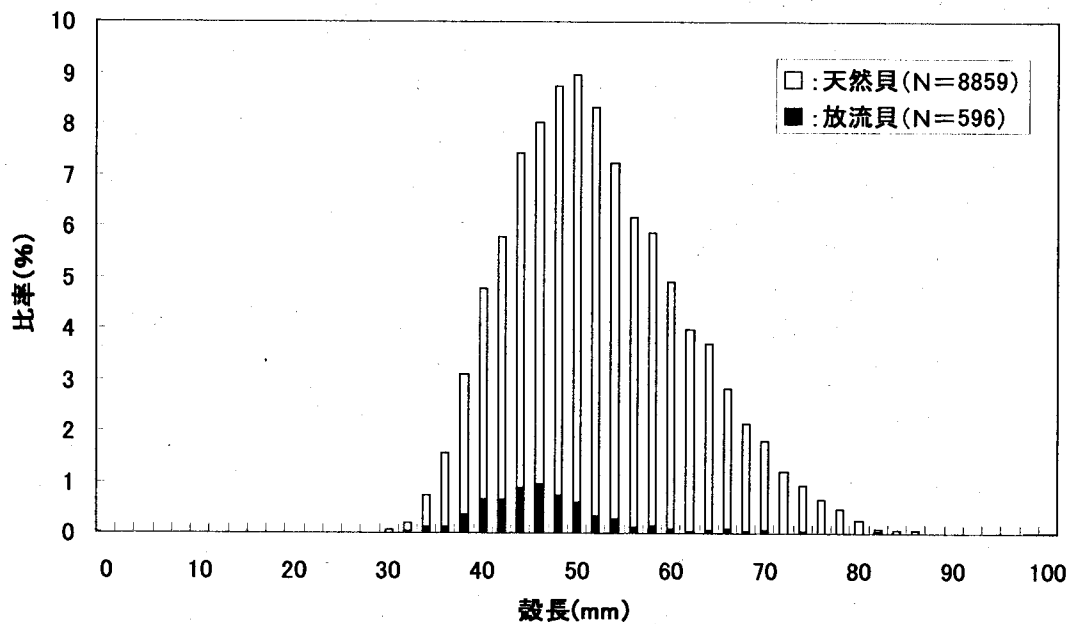


図1 平成12年度牟岐地区トコブシ漁獲物調査結果

*：徳島県農林水産部水産課